



STM-0/T3 CONVERTOR 監視画面

StmView

取扱説明書

- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- MMX および Pentium は Intel Corporation の登録商標、または商標です。

第 1 版 2003/8

第 2 版 2004/1 ソフト外観変更に伴う修正、機能追加に伴う修正

第 3 版 2004/5 StmView Ver.3.0.0 対応

第 4 版 2006/8 P.1 動作環境 「対応 OS」 変更

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製することを禁止します。
- このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取替え致します。それ以外の責はご容赦ください。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次

動作環境.....	1
第 1 章 はじめに.....	2
インストールの前に.....	2
StmView のインストール.....	2
StmView のアンインストール.....	4
第 2 章 操作方法.....	5
ご使用になる前に.....	5
StmView の起動と終了.....	5
操作画面の見方と各部の働き.....	6
操作方法.....	8

動作環境

- 対応 OS

Microsoft Windows XP

- ハードウェア環境

MMX テクノロジ Pentium 150MHz 以上のマイクロプロセッサ(または互換プロセッサ)を搭載し、CD-ROM ドライブ、ネットワークポートを有する IBM PC/AT 互換機

- メモリ

128MB 以上

- ハードディスク

100MB 以上のハードディスク空き容量

- ディスプレイ

SVGA(800×600 ピクセル)以上

必要なメモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合があります。

第 1 章 はじめに

STM-0/T3 CONVERTOR をお使い頂き、誠にありがとうございます。
StmView は SNMP によって STM-0/T3 CONVERTOR の状態監視や設定変更、
保守機能の実行を行うためのソフトウェアです。

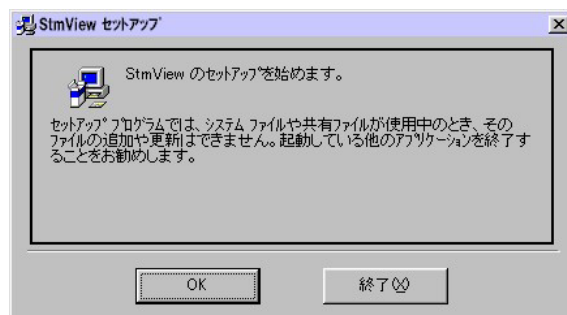
第 1 章では、StmView のインストール手順について説明します。

インストールの前に

StmView をインストールする前に、1 ページの「動作環境」を参照して、インストールするコンピュータの動作環境を確認してください。
また、旧バージョンの StmView がインストールされている場合は、4 ページの「アンインストール」を参照して、旧バージョンを削除した後インストールしてください。

StmView のインストール

1. インストールプログラムを起動する
起動中のアプリケーションを全て終了してください。
インストール後、コンピュータの再起動が必要になる場合がありますので、
編集集中の書類を全て保存してください。
StmView のセットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
「マイコンピュータ」から、挿入した CD-ROM の setup フォルダにある
「setup.exe」プログラムを起動してください。
2. セットアップを開始する
StmView のセットアップが開始
され、右の画面が表示されます。
「OK」ボタンを押してください。

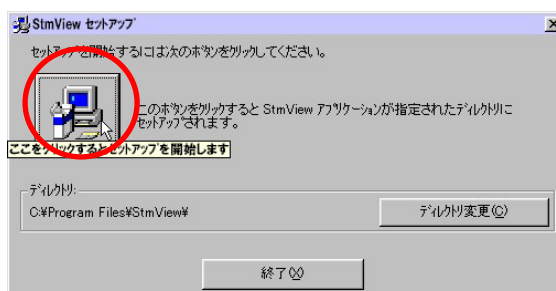


3. インストール先を選択する

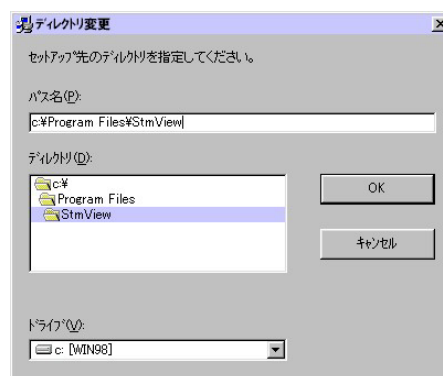
インストール先を選択する画面が表示されます。

通常

「C:\Program Files\StmView\」にプログラムがインストールされます。インストール先を変更する場合は「ディレクトリ変更」ボタンを押してください。



ディレクトリ(フォルダ)変更画面でプログラムをインストールするフォルダを選択し、「OK」ボタンを押してください。インストール先が決定したら、セットアップのボタンを押してください。



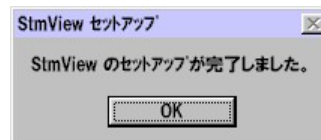
4. コピーの開始

プログラムをコンピュータにコピーします。

5. インストールの完了

インストールが完了したことをお知らせする画面が表示されます。

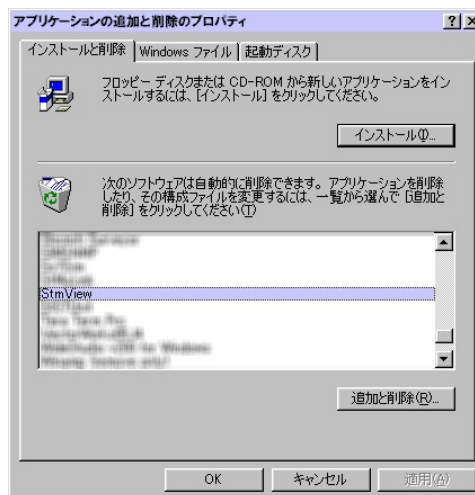
「OK」ボタンを押すとインストールが完了します。



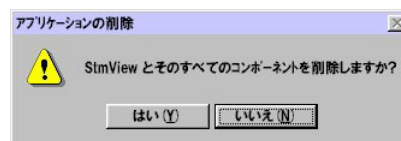
StmView のアンインストール

1. プログラムの終了
StmView を終了します。

2. プログラムの削除
Windows の「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」の順に選択します。
「アプリケーションの追加と削除」を起動し、「インストールと削除」タブを選択します。アプリケーション一覧から「StmView」を選択し、「追加と削除」ボタンを押してください。



3. 削除の確認
StmView の削除を確認する画面が表示されます。
削除する場合は「はい」ボタンを押してください。



第2章 操作方法

第2章では、StmViewの操作方法について説明します。

ご使用になる前に

StmViewは、STM-0/T3 CONVERTORを監視、設定するためのソフトウェアです。StmViewのインストールされたPCをSTM-0/T3 CONVERTORとLAN接続し、STM-0/T3 CONVERTORの電源がONになっていることを確認してください。

また、STM-0/T3 CONVERTORの本体ネットワーク設定で「送信先IPアドレス」にStmViewのインストールされたPCのIPアドレスを設定して下さい。

StmViewの起動と終了

1. 起動の前に

StmViewをインストールしたフォルダを開き、「stm0t3c.tbl」ファイルを「メモ帳」などのテキストエディタで開きます。

テキストファイルの内容は次のようになっています。

```
SAMPLE,192.168.0.1
```

```
TEST,192.168.1.200
```

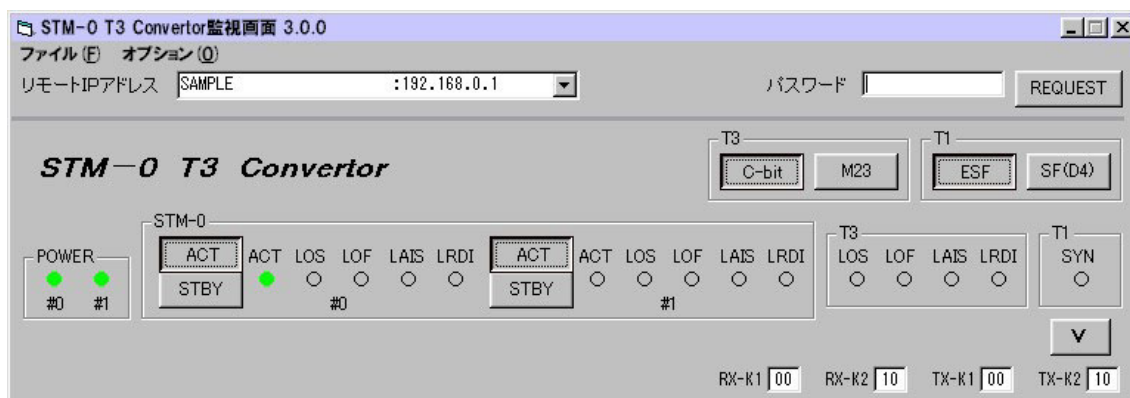
すでに入力されているサンプルを参照して装置のIPアドレスを入力します。“装置名称”“(カンマ)”“IPアドレス”の順に入力します。

IPアドレスの区切りには“(ピリオド)”を使用してください。

IPアドレスの入力が終了したら上書き保存してテキストエディタを終了してください。

2. プログラムの起動

Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」→「StmView」の順に選択します。下のような起動画面が表示されます。

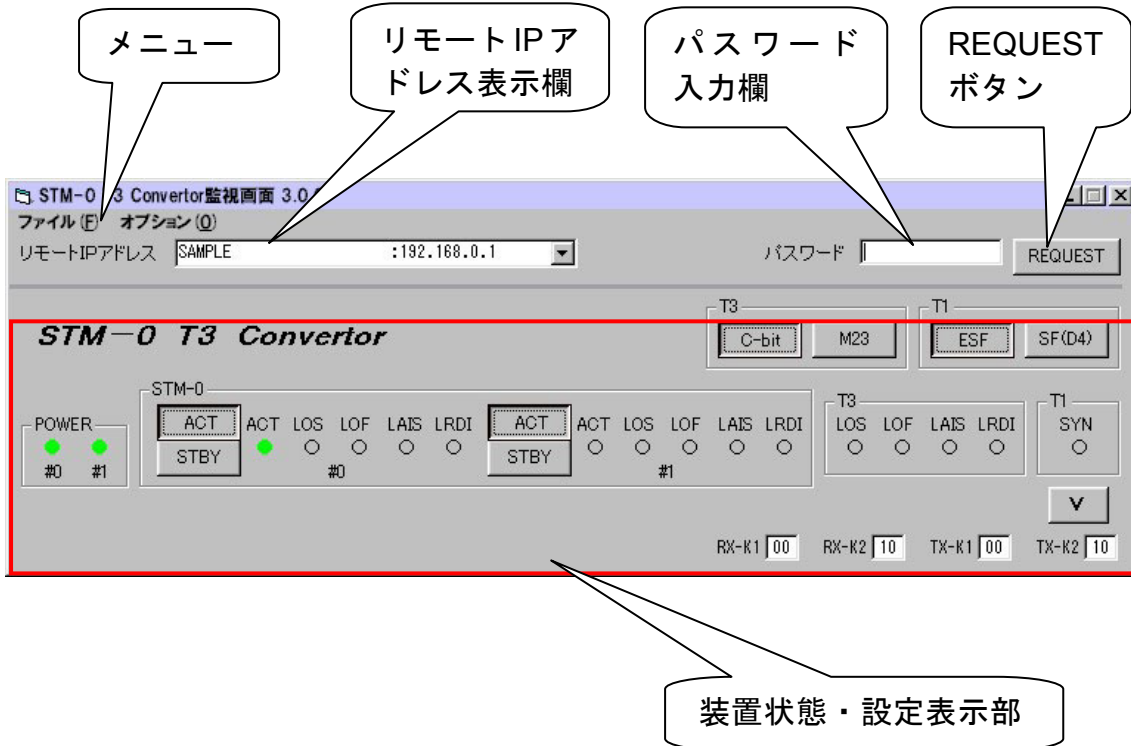


「リモート IP アドレス」のリストから装置を選択してください。
正しく選択すると、装置の状態が表示されます。

3. プログラムの終了

画面右上の×ボタンを押してください。

操作画面の見方と各部の働き



1. メニュー

[ファイル]-[終了]: プログラムを終了します。

[オプション]-[アップロード]: 装置のファームウェア更新を行います。

- [リブート]: 装置を再起動します。

- [保守]: 保守機能を使用します。

2. リモート IP アドレス表示欄

状態・設定表示を行う装置の IP アドレスを表示します。

3. パスワード入力欄

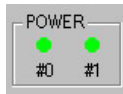
装置の設定を行うためのパスワードをキーボードから入力します。

4. REQUEST ボタン

GetRequest PDU を送出し、装置の状態・設定を要求します。

5. 装置状態・設定表示部

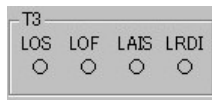
装置前面のインジケータ点灯状態の表示、回線設定状態の表示・設定変更を行います。



: POWER ランプ(#0・#1)点灯状態表示



: STM-0 ランプ(#0・#1)点灯状態表示と STM-0 回線運用設定



: T3 ランプ点灯状態表示



: T1 ランプ点灯状態表示




: T3 回線フレーム設定



: T1 回線フレーム設定



: STM-0 回線 K1・K2 バイト値表示

また、 ボタンを押すことにより、装置内部の警報検出状態を詳細表示することができます。

操作方法

1. 装置状態の表示

「REQUEST ボタン」を押すと、装置状態が「装置状態・設定表示部」へ表示されます。また、装置状態が変化し、装置から Trap PDU を受信した場合も同様に表示されます。

各表示の意味は以下のようになります。

□ランプ点灯状態

ランプ色 緑 : 装置の該当ランプが緑に点灯

ランプ色 赤 : 装置の該当ランプが赤に点灯

ランプ色 橙 : 装置の該当ランプが橙に点灯

ランプ色 灰 : 装置の該当ランプが消灯

□回線設定状態

ボタン 凹 : 設定

ボタン 凸 : 非設定

(例) T3 回線設定



T3 回線は C-bit に設定されています。

□K1・K2 バイト値

STM-0 回線 TX・RX 信号の K1 バイト、K2 バイトの値を 16 進数で表示します。

2. 回線設定の変更

回線設定を変更するためには、装置に設定されているパスワードが必要です。

「パスワード入力欄」に装置パスワードを入力してください。

「装置状態・設定表示部」の各種ボタンを押すことにより、回線設定を変更します。

□STM-0 #0

ACT : STM-0 #0 回線を使用可能にします。

STBY ; STM-0 #0 回線を使用不可能にします。

□STM-0 #1

ACT : STM-0 #1 回線を使用可能にします。

STBY : STM-0 #1 回線を使用不可能にします。

□T3

- C-bit : T3 回線フレームを C-bit に設定します。
- M23 : T3 回線フレームを M23 に設定します。

□T1

- ESF : 内部 T1 フレームを ESF に設定します。
- SF(D4) : 内部 T1 フレームを SF(D4)に設定します。

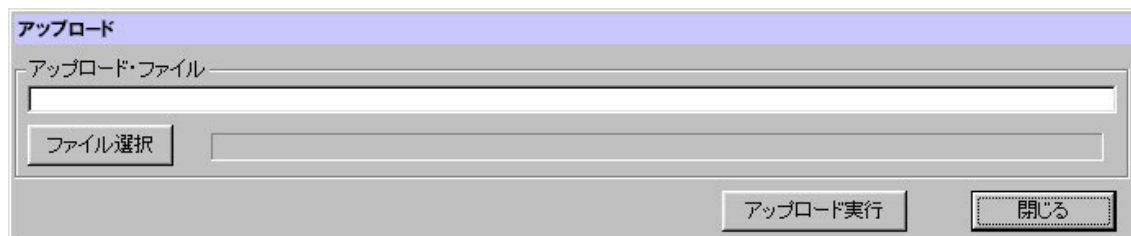
設定が正しく行われると、該当ボタンが凹に変わります。

「装置からの応答がありません。」と表示された場合は、
リモート IP アドレス
パスワード
が正しく設定されているか確認してください。

3. ファームウェアの更新

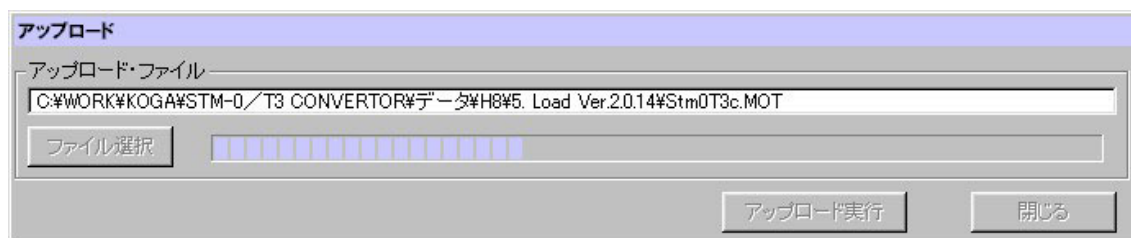
ファームウェアの更新をするためには、装置に設定されているパスワードが必要です。「パスワード入力欄」に装置パスワードを入力してください。

「オプション」メニューから「アップロード」を実行すると、下のような画面が表示されます。



「ファイル選択」ボタンを押し、表示されるダイアログでファームウェアファイル(Stm0T3c.MOT)を選択します。

「アップロード実行」ボタンを押すと装置のファームウェアを更新し、装置を再起動します。



※アップロード中はネットワークのケーブルを抜いたり、装置の電源をOFFしないでください。正常に動作しなくなり、修理が必要になります。

4. 装置の再起動

設定の変更時に必要となる再起動を行うことができます。

「パスワード入力欄」に装置パスワードを入力してください。

「オプション」メニューから「リブート」を実行すると、下のような画面が表示されます。

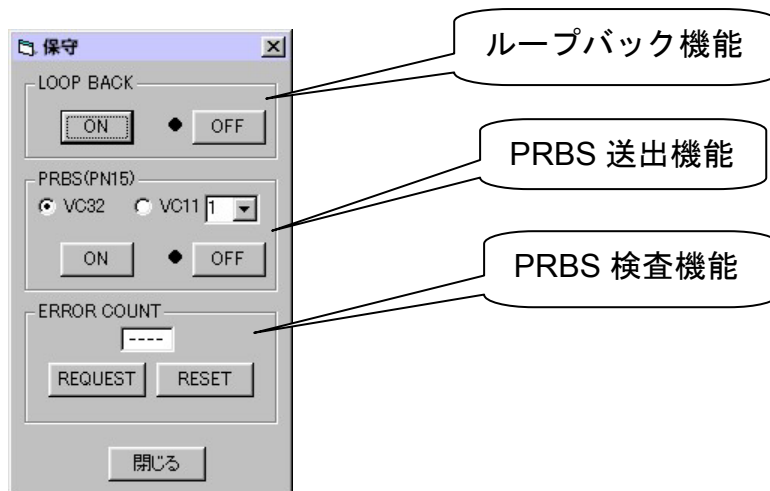


「リブート」ボタンを押すと装置を再起動します。

5. 保守機能の実行

装置の保守機能として、STM-0 ループバック機能および VC32 または VC11 パスへの PRBS(擬似ランダムパターン)送出・検査機能を有しています。

「パスワード入力欄」に装置パスワードを入力し、「オプション」メニューから「保守」を実行すると、下のような画面が表示されます。



□ループバック機能

「ON」ボタンを押すと STM-0 信号をループバックします。

「OFF」ボタンを押すとループバックを停止します。

□PRBS 送出機能

PRBS を送出する対象を「VC32」または「VC11」ボタンで選択します。

VC11 を選択した場合はリストからパス番号(1~28)を選択します。

「ON」ボタンを押すと該当パスにパターンを送出します。


「OFF」ボタンを押すとパターン送出を停止します。

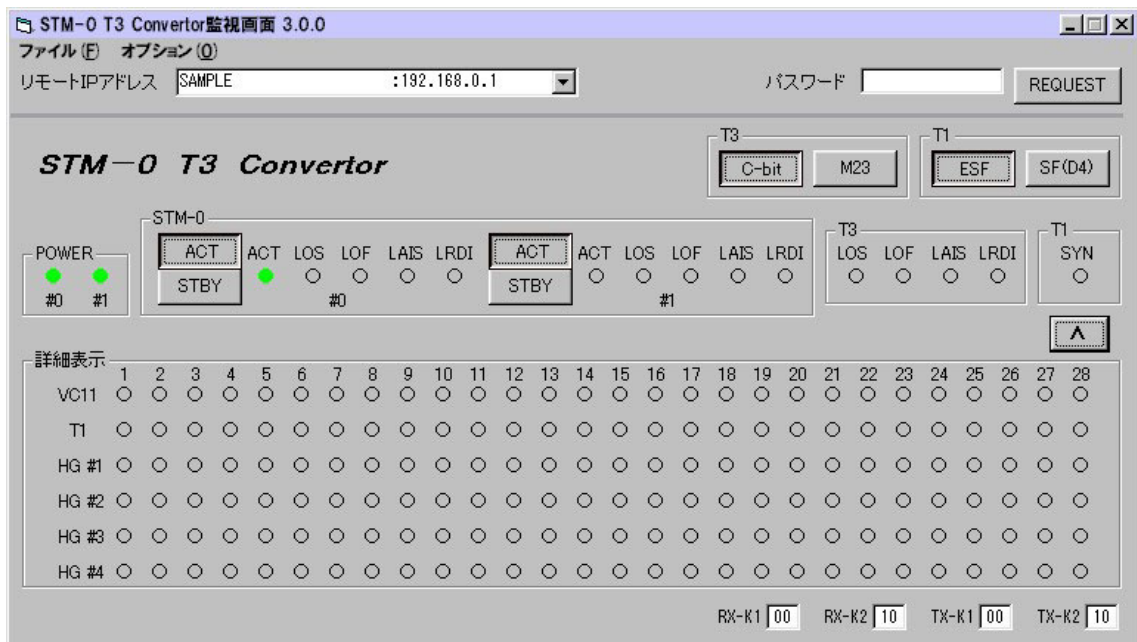
□PRBS 検査機能

PRBS 送出中、「REQUEST」ボタンを押すとパターン誤り数が 16 進数で表示されます。

「RESET」ボタンを押すと表示がクリアされます。

6. 警報検出の詳細表示

装置状態・設定表示部の  ボタンを押すと、警報検出の詳細表示画面が表示されます。



低次パス(28本)ごとに VC11 警報、T1 警報、HG #1~#4 警報を表示します。

各表示の意味は以下のようになります。

□VC11

- ランプ色 赤 : TU-LOP または TU-AIS 検出
- ランプ色 橙 : LP-RDI 検出
- ランプ色 灰 : 警報無し

□T1

- ランプ色 赤 : T1-LOF または T1-AIS 検出
- ランプ色 橙 : T1-RAI 検出
- ランプ色 灰 : 警報無し

□HG #1~#4

- ランプ色 赤 : HG-REC または HG-AIS 検出
- ランプ色 橙 : HG-BAIS 検出
- ランプ色 灰 : 警報無し

STM-0/T3 CONVERTOR 監視画面

StmView 取扱説明書

甲賀電子株式会社

〒520-3047 滋賀県栗東市手原 5 丁目 8-10

TEL : 077-552-5123 FAX : 077-552-5121

e-mail : support@koga.co.jp

URL : <http://www.koga.co.jp>